

2012年6月、日本経済新聞紙面に「考える力養う『囲碁』」と題して特集記事が掲載されました。

内容は大きく分けて2つ。1つは「囲碁を授業として教える教育機関が増えている」というもの

# 石・定石

68 日本棋院県本部から

で、小学校での囲碁授業や、大学では東京大や早稲田大、慶応大などが数年前から単位認定科目として開始している、などと書かれています。あの教育委員会の導入の狙いは「集中力や思考力、礼儀作法の育成」とのこと。

## 考える力を養う囲碁

もう1つは「脳の動き

が活発に」という見出しで、「脳を鍛える大人のDSTレーニング」を開発した脳医学研究者で、東北大学の川島隆太教授らが「囲碁が児童の認知発達に好影響を与える」とする研究結果をまとめた、というものでした。検証では囲碁を3カ月経

# 3歳から指導の教室も

ついています。ところで、囲碁は何歳くらいから始められるのかとよく聞かれますが、私たちの教室では3歳くらいから受け入れていきます。言葉が理解できて、ある程度数を数えられればOKです。

が、自身の子どもに教えたりしてくれているそうです。よく家内が子どもたちに「考えている間は石に触らないで。姿勢を良くして静かに考えれば勝てるかもよ」などと論じていますが、みんなとても楽しんでくれている様子。年を取ってからは覚

験した小学生ほぼ全員の思考力が向上し、川島教授は「囲碁で強く活性化しているのは確かだ」とコメントされています。ちなみに、子どもたちに教える役として家内（古川こんゆ、日本棋院棋士、二段）もこの検証に携わり、結果が出なければ責任問題だったと笑

を行っています。青森市の青森南保育園と青森甲田保育所では、年間通して毎週1回1時間。また、黒石市の美郷保育園では昨年10月から同様に、ほぼ毎週行っています。

園児たちの吸収力には驚かされるばかりですが、自宅でも祖父父母や両親と打ったり、職員の方

えられないでしょうともよく言われますが、そんなことないんですよ。社交辞令ではありません（笑）。実際、60〜70代で始めて有段者になる方もたくさんいます。年齢に関係なく楽しめるのが頭脳スポーツの良いところですよ。子どもでもハンデ無しで大人をやっ

つづけることができます。この夕刊の囲碁欄に基盤の図がありますが、最初はそれの4分の1以下から、心配はいりません。さあ、囲碁で遊びながら脳を活性化しませんか。（具最強位 古川元）



私と妻が毎週指導に通う青森甲田保育所。子どもたちも楽しんでいるようで、対局が始まると面白いくらい自然に集中します